

1.開催された日時 平成 30 年 6 月 2 日 (土) 13:00 – 17:00

2.開催された場所 北海道大学東京オフィス会議室
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階

3.理事総数及び定足数

総数 20 名 定足数 10 名

4.出席理事数 19 名

(出席) 岡 良隆、筒井和義、志賀向子、吉田 学、松島俊也、勝 義直、渡辺明彦、小金沢雅之、
竹井祥郎、安東宏徳、阿形清和、深津武馬、浅見崇比呂、松田恒平、西田宏記、植木龍也
浮穴和義、飯田 弘、広瀬裕一

(欠席) 豊田ふみよ

(監事出席) 武田洋幸、沼田英治

理事出席者 19 名、監事 2 名の出席を得て、理事会は成立となった。議長は、岡会長。
議事録署名人は、定款 35 条 2 項により、岡会長、武田監事、沼田監事。

5.報告事項

理事会の冒頭に、前回第4回理事会議事録の確認が行われ、承認された。

(1) 会長報告 (岡 会長)

札幌大会関連で、公開シンポジウムに関する科研費の公開促進費が採択され、一方でZDWの運営に関する科研費については不採択となった旨報告があった。

本年度は動物学会創立140周年となることから、札幌大会の本部企画シンポジウムで140周年を記念する企画を行う事が報告された。動物学会の歴史紹介の講演2題、及びNarishige Lectureとして、Peter Holland博士を招聘して特別講演を行う計画である。あわせて、ZDWの広報を兼ねた講演と質疑、及び男女共同参画委員会の報告も行う予定である。シンポジウムのタイトルは“The long and winding road that leads to your Zoological Society of Japan today”としたい旨の報告もあり、了承された。

(2) 次期の推薦理事と監事の選任について (岡 会長)

次期の理事候補の選出選挙をうけ、推薦による理事候補として小柴和子 会員 (男女共同参画担当)、吉田 学 会員 (庶務担当) の2名を選出したことが報告され、了承された。

また、次期の監事について、これまでは会長・副会長経験者を監事とするのを通例としてきたが、今回現監事が両名とも次期理事候補に選出されたこともあり、前例に囚われずに人選をおこなった。そして、現役を退いている有識者、と言う観点から八杉貞雄 会員を、外部からの監事として高橋 洋 氏 (現：東レ科学振興会 顧問) を選出したことが報告され、了承された。なお、今回初めての試みである外部監事については、規程に基づいて謝金を支払う方針であることもあわせて報告された。

(3) 会計報告 (志賀 会計担当理事)

H30年度支部活動費の分配額について、説明があった。また、支部の決算報告については共通フォ

ームを作成したので、今後利用して欲しい旨要請があった。
クレジット決済手数料は、現時点では会費値上げをせずに学会負担とすることが報告された。
あわせて、平成29年度の会費納入は順調であることが報告された。

(4) 庶務報告 (吉田 庶務担当理事)

6月1日現在の入会者数について、新入会者数は245名であると報告があった。
学生会員が入会する際、指導教員に署名を貰うこととした旨報告があり、周知に向けて協力要請があった。さらに、学生会員に関しては1年限定会員の制度もあるので、幽霊会員を増やさないためにもこれを活用して欲しい旨要請があった。

(5) 各理事報告の確認

事前に提出された書面での報告(資料1)を確認した。

(6) 平成30年度札幌大会準備状況報告 (松島 北海道支部長)

北海道大学・山下正兼 会員を委員長として、会期は2018年9月13日(木)～15日(土)、会場は札幌コンベンションセンターで開催予定である。6月1日に一般演題申し込みが締め切られ、現在シンポジウム・関連集会の講演140(企画全体の要旨説明含む)、一般講演488、以上合計628件の演題申込があった旨報告があった。また、会長報告にあったように科研費が採択されたこと、北海道および札幌市の支援があることが合わせて報告された。

(7) 2019年度大阪大会準備状況報告 (西田 近畿支部長)

大阪市立大の寺北明久 会員を実行委員長として、2019年9月12日(木)～14日(土)に大阪市立大学全学共通教育棟を会場として実施予定であることが報告された。講義室を30室ほど確保しており、全てを口演で行う予定であること、その他に公開講演会、高校生ポスター発表、動物学ひろば、を行う予定である。また、13日の総会等は大阪国際交流センターにて、懇親会はシェラトン都ホテル大阪にて開催の予定である。

(8) 2020年度大会の開催について (阿形 関東支部長、植木 中国四国支部長)

2020年度大会は、当初関東支部が主管して実施する事が予定されていたが、阿形関東支部長より、東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア対応で会場と予定していた大学が9月を授業日とすることが判明し、会場確保が困難な状況となったため、2020年度の大会実施を断念し、主管を2021年度に延期することになったことが報告され、了承された。

続き、植木中国四国支部長から、2020年度大会は中国四国支部が主管して2021年度に予定していた計画をそのままスライドし、鳥取大学の鶴崎展巨 会員を実行委員長として米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)で2020年9月3日(木)～5日(土)に開催する予定であることが報告され、了承された。

(9) 寄附・渉外担当理事報告 (小金澤 寄附・渉外担当理事)

今年度の現時点での寄付数が32件とやや低調であり、寄付を広く募って欲しい旨要請があった。また、理事会で承認された寄付委員会の選任がほぼ終わり、委員会の活動を始めつつあることが報告された。

(10) 将来計画委員会報告 (渡辺 将来計画委員会委員長)

キャリアパス問題に対するアンケートの実施についての進捗状況の報告があった。現在、410くらいの回答が集まっており、回答状況が順調であることから、色々有益な情報が得られることが期待できることが報告された。

(11) 国際交流セミナーについて (安東 国際交流委員会委員長)

札幌大会に合わせて、平成30年9月11日～12日に北海道大学学術交流会館および札幌市アイヌ交流

センターにて第5回セミナーを開催予定である。今までは、大会後に一泊の合宿形式で行う事が多かったが、今年は日独交流の集会との連携を想定して大会前に設定したことが報告された。

(12) UniBio Pressからの購読料返還について (永井 事務局長)

BioOneからの報告に基づき、2017年度Zoological Science購読料返還について説明があった。わずかながら、アクセス数が減少し、円高の影響もあり、購読料は昨年よりは減少するものの、アクセスは良好である旨、報告された。

6.審議事項

(1) 平成30年度「公益社団法人日本動物学会事業計画(案)」について (吉田 庶務担当理事)

平成30年度事業計画案が示され、一部修正の後、添付資料2の通り事業計画案が承認された。

(2) 平成30年度「公益社団法人日本動物学会予算(案)」について (志賀 会計担当理事)

平成30年度予算案が示され、後段の議事で決したZDWに関する予算について一部修正を加えた後、添付資料3の通り予算案が承認された。

(3) 川口基金への組み入れについて (永井事務局長)

平成29年度の決算において見込まれる剰余金について、川口基金に繰り入れることが諮られ、了承された。

(4) 平成30年度論文賞について (深津 ZS 編集委員会委員長)

選考委員会における選考結果が報告され、審議の結果、満場一致で原案通り下記の論文への授賞が決定した。

1. Clock and Hormonal Controls of an Eclosion Gate in the Flesh Fly *Sarcophaga crassipalpis*
Miki Yamamoto, Koji Nishimura and Sakiko Shiga
Zoological Science 34(2): 151–160.
2. A Novel Symbiotic Ciliate (Ciliophora: Peritrichia) in the Hindgut of a Stag Beetle (Coleoptera: Lucanidae)
Masahiko Tanahashi, Xian Ying Meng and Takema Fukatsu
Zoological Science 34(3): 217–222.
3. Laterality is Universal Among Fishes but Increasingly Cryptic Among Derived Groups
Michio Hori, Mifuyu Nakajima, Hiroki Hata, Masaki Yasugi, Satoshi Takahashi, Masanori Nakae, Kosaku Yamaoka, Masanori Kohda, Jun-ichi Kitamura, Masayoshi Maehata, Hirokazu Tanaka, Norihiro Okada and Yuichi Takeuchi
Zoological Science 34(4): 267–274.
4. External Asymmetry and Pectoral Fin Loss in the Bamboo Sole (*Heteromycteris japonica*): Small-Sized Sole with Potential as a Pleuronectiformes Experimental Model
Qiran Chen, Masako Takagi, Makoto Mogi, Miki Kikuchi, Yudai Saito, Shunya Nakamura, Hayato Yokoi, Tadahisa Seikai, Susumu Uji and Tohru Suzuki
Zoological Science 34(5): 377–385.
5. Laboratory Rearing System for *Ischnura senegalensis* (Insecta: Odonata) Enables Detailed Description of Larval Development and Morphogenesis in Dragonfly
Genta Okude, Ryo Futahashi, Masahiko Tanahashi and Takema Fukatsu
Zoological Science 34(5): 386–397.

(5) 平成30年度動物学会女性研究者奨励OM賞について (志賀 OM 賞選考委員会委員長)

選考委員会における選考経過と結果が報告され、審議の結果、満場一致で原案通り下記の者への授賞が決定した。

- ・ 宮川(岡本)美里 [みやかわ(おかもと)みさと]
宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター 日本学術振興会特別研究員 PD
「アリ類で進化した性決定機構における 分子遺伝学的基盤の解明」

- ・ 小田 (石井) いずみ [おだ (いしい) いずみ]
京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻 特定研究員
「ホヤ胚発生における転写因子 Zic の 2 種の結合配列を介した調節」

(6) 平成 30 年度動物学会賞・奨励賞・奨励賞・成茂動物科学振興賞について (西田 学会賞等選考委員) (蟻川 委員長代理)
選考委員会における各賞の選考経過と結果が報告され、審議の結果、満場一致で原案通り下記の者への授賞が決定した。

<学会賞>

- ・ 田村 宏治 (たむら こうじ) 東北大学大学院生命科学研究科・教授
「脊椎動物の四肢の発生・再生・進化の研究」
- ・ 佐藤 ゆたか (さとう ゆたか) 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻・准教授
「ゲノムを基盤としたホヤ胚発生における遺伝子調節ネットワークの研究」

<奨励賞>

- ・ 柴 小菊 (しば こぎく) 筑波大学下田臨海実験センター・助教
「可視化・イメージング技術の開発による高速鞭毛繊毛運動のメカニズム解明に関する研究」
- ・ 竹内 勇一 (たけうち ゆういち) 富山大学、大学院医学薬学研究部 (医学)・助教
「魚類の左右性における生態学的役割とその神経基盤」
- ・ 宮川 一志 (みやがわ ひとし) 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター・准教授
「ミジンコの表現型可塑性を制御する内分泌機構の解明」

<教育賞>

- ・ 福田宏 (ふくだ ひろし) 岡山大学大学院環境生命科学研究科、准教授
「動物分類学の教育啓蒙および生物多様性保全の学術的推進」

<成茂動物科学振興賞>

- ・ 守野 孔明 (もりの よしあき) 筑波大学生命環境系・助教
「らせん卵割型発生の割球運命分配機構と進化」

(7) 今後の本大会の開催ローテーションについて (岡 会長)
関東支部が主管する年次大会が 2020 年度から 2021 年度と変更になったこと、関東支部は他の支部と違って 5 年周期で年次大会を主管することから、2021 年度以降の関東支部の主管をどうローテーションするか、検討を行った。阿形関東支部長より、他の支部にこれ以上迷惑を与えたくない旨の意向表示もあり、2021 年度の次は当初の予定通り 2025 年度の主管とし、その後 5 年周期に戻すこととした。

(8) ZooDiversity Web の今後の運営について (広瀬 ZDW委員会委員長)
会長報告でもあったとおり、本年度新規に申請した科研費が不採択となったため、新規コンテンツの取り込みや運用にかかる経費を学会予算から支出して欲しい旨要請があり、検討した結果、全会一致で承認された。これに伴って予算案が修正された。

(9) 8 月理事会日時について
次回 (平成 30 年度第 1 回理事会) は 8 月 30 日を軸に web 会議で開催予定で、日程はこれから調整することとした。

(10) その他

岡会長より、名誉会員の選出法および理事の定年について、今後議論を開始したい旨の意向表明があり、次回の理事会以降、検討していくこととした。

また、多少の改善は見られたものの、本年度も依然として各賞の応募が少ない状況が続いていることから、特に理事には、さらに積極的に受賞候補者の推薦を行うことが要請され、了承された。

平成 29 年 月 日

上記の内容で相違ないことを証するため、ここに記名押印をする。

議 長 岡 良隆

議事録署名人 武田 洋幸

議事録署名人 沼田 英治

各理事活動報告（2018年3月～5月）

○ 会長活動報告（2018年3月～5月）（岡理事）

1. 動物学会賞、奨励賞、教育賞、成茂動物科学振興賞について、推薦要領の文章を整え、理事会でメール審議により承認後、学会ホームページに掲載した。
2. 6月の理事会の日程を調整し、本部役員で6月2日実施を決定した。また、理事会開催について理事に連絡した。
3. 理事選挙の選挙管理委員3名の依頼と、委員長を選定に関して、これを3名の現理事（今回の選挙で被選挙権のない会員）に依頼した。
4. 3月の理事会の詳細について理事に連絡した。
5. 日本科学技術振興財団に対して、国際生物学オリンピック事業への寄附を行った。
6. 6月の理事会開催について理事に正式通知を送った。
7. 将来計画委員会及び男女共同参画委員会から依頼のあった、キャリアパスに関する意識調査のアンケート案について、理事にメール審議を依頼した。理事会承認後、学会員に今一度アンケート記入への協力を依頼した。
8. Clarivate Analytics 社に ZL 誌に関する分析を依頼する業務契約を行った。
9. ZS 誌の著者抄録使用料の過去未払い分が科学技術振興機構から学会に振り込まれたので、一般会計収入に繰り入れる旨理事に連絡し、了承を得た。
10. 2020年開催の動物学会大会について、本来は関東支部が担当することになっていたが、東京オリンピック開催と重なることなどから、次の担当となる予定であった中国四国支部に先に開催を依頼することとなった。この件については、6月2日の理事会で中国四国支部長に報告してもらった後に、今後の担当のローテーションと共に理事に合議の上承認してもらうこととした。
11. 現在までに学会に送られてきている寄付金の件数が少なく、税金免除団体として必要な数に足りなくなる恐れがあることがわかり、寄附・渉外担当理事と相談して、学会から、会費納入の依頼を学会員に郵送する際に、寄付の依頼を同封することとした。

○ 副会長活動報告（2018年3月～5月）（筒井理事）

会長と各委員会の職務を補佐した。
理事選挙における選挙管理委員を務めた。

○ 庶務担当理事および IT 委員会活動報告（2018年3月～5月）（吉田理事）

会長、副会長、会計及び事務局長と連携を図りながら動物学会の運営の補佐を行った。

IT 委員会は、2018 年 3 月 23 日に東京駅周辺にて阿部委員及び永井事務局長と共に（株）ダイナックスとの打合せを行い、Web サイト更新並びに札幌大会における参加登録システムに関するシステムの打合せを行った。

支部サイトを構築するための親となるメールアドレスを取得し、準備を開始した。

○ 会計担当理事活動報告（2018 年 3 月-5 月）（志賀理事）

3 月 7 日 第 4 回理事会において議事メモを作製した

4 月 9 日 OM 賞選考委員、オブザーバー、会長、事務局長参加の元、OM 賞選考のための事前会議を web により開催し、審査方法および注意点について話し合った。

4 月 13 日 3 月末までの収支計算書を確認した

5 月初旬 OM 賞選考委員として応募者の評価点をつけるとともに、OM 賞選考委員会委員長として各委員の評価点をまとめ、5 月 12 日のための会議資料を作成した。

5 月 12 日 OM 賞選考委員会を開催し、2 名を選考した。

5 月中旬 理事会提出のための OM 賞選考結果をまとめた

○ 賞等担当理事報告（2018 年 3 月-5 月）（竹井理事）

1. 次期理事候補者の互選による平成 30 年度学会賞等選考委員が決定した。選考委員の互選による委員長選考までを賞等担当理事が担当した。
2. 川口賞の選考が学会賞等選考委員会により稟議で行われ（3 月 16 日）、10 名の応募があり、2 名が選考された。
3. 女性研究者奨励 OM 賞の趣旨を選考委員に周知するため、4 月 9 日に志賀委員長を中心としてプレ会議が Web により行われた。真行寺前委員長と賞担当理事がオブザーバーとして出席した。
4. OM 賞選考委員会が 5 月 12 日に東京国際フォーラムで開催された。8 名の応募があり、2 名が選考された。真行寺前委員長と賞担当理事がオブザーバーとして出席した。
5. 学会賞等選考委員会が 5 月 24 日に北大東京オフィスで開催された。学会賞に 2 名、奨励賞に 7 名、成茂動物科学振興賞に 5 名、教育賞に 1 名の応募があった。
6. 日本学術振興会育志賞の学会推薦枠に、本年度は応募がなかった。

○ 広報理事及び広報委員会活動報告（2018 年 3 月-5 月）（浮穴理事）

- 研究助成、教員等公募情報、研究集会情報について、広報委員が月当番で学会ホームページへ情報をアップすることの指示・確認を行った。最終的に、学会ホームページのトップページの TOPICS&NEWS 欄を更新した。
- Zool. Lett. 誌のサイトに飛べるアイコンを学会ホームページに設置した（3 月）。
- 学会賞等応募要領を学会ホームページに掲載した（3 月）。

- Zool. Sci.誌の最新号表紙を更新した（4月）。
- 前月までの会員ダイレクトメールの内容をまとめ、メールマガジンとして編集・配布した（5月）。

○ ZS 編集主幹報告（2018年3月-5月）（深津理事）

1. Zoological Science の発行について
Zoological Science Volume 35 Issue 2 (Apr 2018): 11 Articles を発行した。
2. Zoological Science Award 授賞候補論文の選考について
2017年度 Zoological Science Award 授賞候補論文 5件を選考した。

○ 男女共同参画理事および委員会活動報告（2018年3月-5月）（豊田理事）

- ・ 3月23日（金）建築会館ホール（東京）で開催された第16期男女共同参画学協会連絡会第2回運営委員会に動物学会男女共同参画委員3名と共に参加した。
- ・ 4月～5月
将来計画委員会と男女共同参画委員会からなるキャリアパス小委員会（委員長石原顕紀先生）が中心となってキャリアパスに関する意識調査（アンケート）実施中である。
- ・ 5月29日 日本動物学会第89回札幌大会における第18回男女共同参画懇談会について下記内容の企画が採択されたので、要旨を大会事務局に提出した。
ランチョン企画：ワーク・ライフ・バランスの実現のために～それぞれの取り組みを知ろう、語り合おう～
プログラム
総合司会：矢澤隆志（旭川医大・医学部・生化学）
前回のグループディスカッションの報告
広瀬慎美子（東海大学・海洋学部・環境社会）
グループディスカッション
矢澤隆志（旭川医大・医学部・生化学）
ワーク・ライフ・バランスの実現のために～それぞれの取り組みを知ろう、語り合おう～
昨年と同様に、参加者が「キャリアパス、共働き・単身赴任、育児、介護」の4つのテーマ別に分かれてグループディスカッションを行う予定である。

○ 国際交流担当理事及び委員会活動報告（2018年3月-5月）（安東理事）

1. 日本動物学会第89回札幌大会（9/13-15）に合わせて開催する第5回動物学国際交流セミナーの企画案（下）について検討し（メール審議）、認められた。

日程：平成 29 年 9 月 11 日(火) ～ 12 日(水)

場所：北海道大学学術交流会館（セミナー）および札幌市アイヌ交流センター

懇親会，宿泊：湯元小金湯

スケジュール：

9 月 11 日（火） 10:00（予定）～ 16:00 セミナー、（16 時に小金湯に移動）懇親会

9 月 12 日（水） 10:00 解散

○ 出版・図書担当理事及び委員会活動報告（2018 年 3 月-5 月）（松田理事）

1. Springer のシリーズ出版「Diversity and Commonality in Animals」の第 5 巻「Endocrine Systems in Animals（仮題）」については、Editors の方針も含め未着手の部分が多く、担当者らとの協議を継続して進めている。また、第 6 巻以降の新たな企画を立てることを検討中である。
2. 丸善出版「動物学の百科事典」出版に係る進行状況および発刊予定については、編集幹事、編集委員、中項目執筆者により、再校の点検が進行中であり、今年度の札幌大会までの発刊を予定している。

○ 教育担当理事及び委員会活動報告（2018 年 3 月-5 月）（勝理事）

- ・ 2018 年 3 月 2 日に中部支部教育担当後藤委員から支部の活動報告を受けました。その内容を各支部の教育担当委員の先生方に送って情報を共有しました。
- ・ 2018 年 4 月 27 日に各支部の教育担当委員に平成 30 年度の事業計画（活動計画）作成のための情報提供を呼びかけました。
- ・ 2018 年 4 月後半から 5 月にかけて、各支部より教育関係（主に中高生・一般向けの企画）の活動計画予定を受けました。さらに、教育委員独自の活動計画を話しあい、平成 30 年度の教育委員活動計画を作成し、学会本部へファイルを送りました。

○ 将来計画担当理事および委員会報告(2018 年 3 月-5 月)（渡邊理事）

1. キャリア意識に関するアンケート調査の実施を本部と各支部の会員メーリングリスト、及び支部イベントを通して全会員に通知した。また、アンケートを web 上に公開して、調査開始前から回答できるようにし、その旨を再度メーリングリストにより通知した。6 月 1 日の調査開始日に合わせて、メーリングリストにより再度アンケートの実施を通知して、回答率の向上を図った。
2. キャリア意識に関するアンケート調査のチラシを作成して、支部イベントでの配布を依頼した。
3. 平成 30 年度将来計画委員会事業計画を作成した。

○ 渉外・寄付担当理事および書記活動報告（2018年3月-5月）（小金澤理事）

- ・ 2018年3月7日開催の平成29年度第4回日本動物学会理事会（東京国際フォーラム）にweb経由での参加をした。理事会議事録の原資料作成のため会話録音を行った。
- ・ 第4回理事会にて録音されたデータからテープ起こしを行い、「日本動物学会第4回理事会メモ」としてまとめた。なお、web参加であったため録音内容が不明瞭であったため一部のみのテープ起こしを行った。
- ・ 「寄付委員会」の組織を継続して行った。
- ・ 「寄附のお願い」の周知について事務局と議論し、会費請求時に文書を同封することとした。

○ ZDW担当理事活動報告（2018年3月-5月）（広瀬理事）

- ・ Virtual Issue "Developmental Biology of Ascidians"を掲載した。
- ・ Virtual Issue に表紙写真を掲載できるようにした。これにより第2 issue に表紙写真を掲載した。
- ・ 今後、Virtual Issue Editor が提供するデータの内容・様式について検討を行った。
- ・ ZDW の特に海外での広報を目的に、フライヤーを作成した。
- ・ ZDW で証拠標本を扱った論文に表示するアイコンを作成した。
- ・ ZDW のシステム改修作業について、ダイナックスと打ち合わせを行った。（札幌大会および理事・会長・支部選挙関連の作業と時期が重なるため、3月中に完了できないことを了承した。完了は6月ごろの予定。）
- ・ 科研費実績報告書を作成した。

○ 北海道支部活動報告（2018年3月-5月）（松島理事）

今期、北海道支部は1回の支部講演会（第577回）を実施しました。また、第89回動物学会札幌大会に向けて、札幌コンベンションセンターと実施方の打合せを数回行いました。

1. 北海道支部講演会

(ア) 第578回支部講演会

- ① 平成30年4月26日 17:00~18:00
- ② 会場：旭川大学図書館1階ディスカッションスペース
- ③ 演者：柳町隆造（ハワイ大学医学部）
- ④ 演題：What I did and what I learned

(イ) 第579回支部講演会

- ① 平成30年4月27日 17:00~18:00
- ② 会場：北海道大学 地球環境科学研究所 D201(D棟2階)
- ③ 演者：斎藤成也（国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門）

④ 演題：ゲノム時代の生物進化研究とは？

(ウ) 第 580 回支部講演会

① 平成 30 年 5 月 18 日 17:00~18:00

② 会場：北海道大学理学部 5 号館 5-813 号室

③ 演者：Ayako Yamaguchi (山口文子、Department of Biology, The University of Utah)

④ 演題：Neurobiology of vocal production in frogs

○ 東北支部活動報告(2018 年 3 月-5 月) (渡邊理事)

1. 3 月 7 日に開催された理事会の報告を作成して、平成 30 年度東北支部会、及びフォトコンテストの実施と合わせて支部メーリングリストにより会員に周知した。
2. 支部長と支部選出理事の選挙を実施した。
3. キャリア意識に関するアンケート調査の実施について、支部メーリングリストにより会員に回答を呼びかけた。
4. 浅虫水族館と青森県中学校、高等学校が主催する理科研究発表会の後援の依頼を受けて可否を検討し、今年度について後援することを決めた。
5. フォトコンテストのポスターの掲示を加茂水族館等に依頼した。
6. 平成 30 年度東北支部会、及び親子で楽しむ動物学 18 準備委員会を山形大学小白川キャンパスで行い、準備状況を確認した。
7. 平成 30 年度東北支部事業計画を作成した。

○ 関東支部活動報告(2018 年 3 月-5 月) (阿形理事)

1. 2017-18 年度 日本動物学会関東支部総会を開催した。
 - 日時:2018 年 3 月 21 日(祝)12 時 50 分~13 時 20 分
 - 会場:上智大学 四谷キャンパス 2 号館 401 講義室
 - 議事
 - ① 第 70 回支部大会長(安増茂樹会員・上智大学)及び支部長の挨拶
 - ② 庶務および会計からの報告
 - ③ 2018 年度の活動計画の提案と承認
 - ④ 2017 年度の支部活動費の会計監査結果と承認
 - ⑤ 2018 年度の支部活動費支出計画の提案と承認
 - ⑥ 2018 年度~2019 年度の選挙管理委員として 2 名を選出
2. 今年度で開催される大会などの日程を確認した。
 - 2018 年 7 月 22 (日)13 時より「さまざまな環境に適応する動物たち-分子やゲノムから生態・進化を解き明かす-」が東京大学理学部二号館 4 階講堂において開催予定
 - 2018 年 9 月 13 日~15 日、札幌にて第 89 回日本動物学会年会合同大会予定
 - 2019 年 3 月、第 71 回関東支部大会を中央大学(福井大会委員長)にて開催

○ 中部支部活動報告（2018年3月-5月）（浅見理事）

1. 2018年度日本動物学会中部支部大会を以下の日程・会場・組織により開催する準備を進行中である。

日程：2018年（平成30年）12月8日（土）-9日（日）

場所：名古屋大学理学南館 坂田・平田ホールとセミナー室

この日程内で、研究発表、ポスター、シンポジウム、懇親会、表彰、支部役員会を開催する計画にある。

実行委員会役割分担：

大会長、庶務：田中実、高大連携：大隅圭太、シンポジウム：澤田均、プログラム：小橋常彦、金森章、八木克将、橋本寿史、懇親会・会場：石川由希、会場・会計：西村俊哉

○ 近畿支部活動報告（2018年3月-5月）（西田理事）

1. 近畿支部の春の支部委員会を開催した。

・日時：2018年5月12日（土） 13:30より18:00まで

・会場： 京都大学理学研究科2号館113号室

報告及び議題：

1. 支部長報告・理事会報告
2. 2017秋季支部会の議事録承認
3. 2017年度(平成29年度)会計報告
4. 近畿支部の今後の活動予定

2. 近畿支部研究発表会を行った。

・日時：2018年5月12日（土） 13:30より18:00まで

・会場： 京都大学大学院理学研究科2号館第一講義室

13演題の発表があった。

○ 中国四国支部活動報告（2018年3月-5月）（植木理事）

今期は、本支部70周年記念誌の発行、2019年度支部大会（広島）についての植物学会および生態学会との打合せ、中国四国支部での全国大会開催の候補地に関する打合せを行った。また、広島県例会および支部大会を実施した。支部大会において若手優秀者表彰を行った。支部便り5月23日号を発行し、支部大会報告や今後の予定などを会員に伝えた。以下に詳細情報を添える。

1. 広島県例会

日時：平成30年3月8日（木）13:00~16:00

場所：広島大学大学院理学研究科 E 棟 大会議室 (E203)

演題数：22 件

参加者：38 名 (会員 20 名、非会員 18 名)

2. 支部大会 (生物系三学会合同大会)

日時：平成 30 年 5 月 12 日 (土) ~13 日 (日)

場所：山口大学吉田キャンパス 共通教育棟

参加者：動物学会会員 47 名 (三学会等の合計 137 名、非会員・学生 16 名・講師 1 名)、
高校生発表 179 名

演題数：動物学会 27 件 (ポスター14 件、口頭 13 件)、三学会あわせて 84 件 (ポスター55 件、口頭 29 件)、高校生発表 44 件

3. 若手研究者優秀発表賞表彰

高橋 望史 (岡山大・臨海)

「原始左右相称動物扁形動物ヒラムシから探る生殖腺刺激ホルモン放出ホルモンの機能進化」

藤原 希 (鳥取大院・連農)

「幼虫休眠する昆虫におけるアクアポリンの役割」

○ 九州支部活動報告 (2018 年 3 月-5 月) (飯田理事)

1) 研究キャリア形成に関する意識調査依頼を支部会員に連絡。5 月 18 日

実施期間：2018 年 6 月 1 日 (金) ~6 月 15 日 (金)

意識調査サイト URL：<https://goo.gl/forms/MZj04GfADqa86rcP2>

2) 三学会合同大会 (宮崎大学、5 月 26 日、27 日) における支部委員会、支部総会の資料作成と会計報告書を作成し、当日に支部委員会と総会開催。

三学会合同大会『日本動物学会九州支部 (第 71 回)』：口演 17 題、高校生ポスター発表 8 題

公益社団法人日本動物学会 平成 30 年度事業計画

1 定時社員総会の開催

2018年9月14日(金) 札幌コンベンションセンター(〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)で開催する。主な議案は、①平成29年度公益社団法人日本動物学会事業報告、②平成29年度決算(貸借対照表、損益計算書、及び財産目録)③平成30-31年度理事、監事について

2 学術集会の開催

2018年9月12日から15日まで、第89回日本動物学会大会を、札幌コンベンションセンターで開催する。大会準備委員会を組織して、発表、ポスター、講演、シンポジウム、高校生発表等を行う。(公益1)

3 学術誌の刊行

Zoological Science (ZS)の刊行(第35巻4号～第36巻3号)。年6回発行、800頁。
ZSの編集は、編集委員会委員が行う。編集委員会は1回開催
OAジャーナル Zoological Letters (ZL)の刊行。年間25-27論文の出版(公益1)。

4 Webによるニュースの発行と広報活動の促進

HPを利用して、ニュースを月1回発行する。大学等研究機関による職員募集、科学者によるセミナー、シンポジウムの開催通知、動物学関連書籍の書評などを掲載する。

5 ZooDiversityWeb(ZDW)の構築

Zoological Science、Zoological Letters 出版論文を随時 ZDW にアップする。
論文が対象とする動物種のデータ作成する。動物学雑誌、動物学彙報の「英語論文」XMLを目指す。(公益1)

6 Virtual Issues の発行

ZDWを利用し、動物種等に基づいた Virtual Issues を編集刊行する。(公益1)

7 研究の表彰

・日本動物学会賞

会員を対象とし、動物学研究に新たな知見をもたらした研究者に授与する。毎年1～2件程度を学会賞等選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。

・日本動物学会奨励賞

会員を対象とし、今後の動物学研究を推進することが期待される若手研究者に授与する。毎年2～3件程度を学会賞等選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。

・Zoological Science Award

2018年に出版されたZS掲載論文を、各分野において、優秀でインパクトのある論文の著者に授与する。本学会の会員歴、国籍などは問わない。ZS編集委員会で選考し、理事会の審議により決定する。(公益1)

・日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞

安定した身分で研究を続けることが困難であるが、強い意志と高い志を持って研究に意欲的に取り組もうとする女性動物科学者を対象とする。本学会の会員歴、国籍などは問わない。OM賞選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。(公益1)

・成茂動物科学振興賞

動物学の全分野でユニークな研究を展開する会員に授与する。学会賞等選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。

・若手研究者国際会議出席補助金（川口賞）

2019年3月-2020年2月までに開催される海外国際会議への渡航費を補助する。学会賞等選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。

・動物学教育賞

活発な啓蒙活動等により動物学の社会への普及に著しく貢献した個人または団体を対象とする。本学会の会員歴、国籍などは問わない。学会賞等選考委員会で選考し、理事会の審議により決定する。(公益1)

8 委員会の活動

・広報委員会

- 1) 学会ホームページの更新・維持による学会内外への広報活動を行う。
- 2) メールマガジンの月刊配信により会員向け情報の提供を行う。
- 3) IT委員会と連携し、学会ホームページのリニューアルを進める。

・図書委員会

- 1) Springer のシリーズ出版 (Diversity and Commonality in Animals) に関して継続して Volume 6 以降の新たな企画を立てることとする。
- 2) 丸善出版「動物学の百科事典」出版に係る進行状況および発刊予定については、現在、編集幹事、編集委員、中項目執筆者により、再校の点検が進行中であり、今年度の札幌大会までの発刊を予定している。

・男女共同参画委員会

- 1) 第4回大規模アンケートの結果報告
2016年秋に実施された、男女共同参画学協会連絡会主催第4回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査(大規模アンケート)の動物学会会員分析を行い、第89回札幌大会2日目の本部企画シンポジウムにて解析結果の報告を行う。
- 2) キャリアパス小委員会との連携
将来計画委員会と男女共同参画委員会との合同で設置されたキャリアパス小委員会を中心となり「動物学会会員を対象としたキャリアパスに関する意識調査」を実施

する。結果を解析し、札幌大会にて報告する。

3) ランチョン企画開催

札幌大会 1 日目のランチタイムにて、第 18 回男女共同参画懇談会ランチョン企画「ワーク・ライフ・バランスの実現のために～それぞれの取り組みを知ろう、語り合おう～」を開催し、男女共同参画推進への議論を深める。開催のための寄附を募る。

4) 男女共同参画学協会連絡会での活動

正式加盟学会として、年 4-5 回の運営委員会の出席、ワーキンググループへの参加、女子中高生夏の学校への協力、2018 年度連絡会シンポジウムでの発表を行う。

5) その他

動物学を研究する研究者および大学・大学院生の研究・学問の発展のために、男女共同参画社会の実現を目指す活動を継続して行う。

・将来計画委員会

ポストクのキャリアパスに関する意識調査結果の解析を、キャリアパス小委員会、男女共同参画委員会と連携して行い、解析結果を学会大会、HP 等で公開する。また、生物科学会連合のポストク問題検討委員会の活動と連動して必要に応じた動物学会のとりまとめを行う。教員の任期制、教員公募の際のジェンダーに関する記載など関連した課題について議論を引き続き継続する。さらに、動物学の普及、及び高等学校教育への貢献の観点から学会として実施可能な施策を議論する。

・教育委員会

教育委員会は、昨年度に引き続き以下の活動を行う。

- 1) 高等学校教員を対象にホームページに開設している「動物学 Q&A」について。現在のホームページ刷新にともない「動物学 Q&A」を廃止する。その代わりに、各支部で実施している高校生対象の企画・活動を載せる計画を進める。掲載形式・方法や閲覧数を増加させる案などを練る。
- 2) 高校生で実施している動物実験や遺伝子組み換え実験に関する教育訓練について。どのように高校で実施されているのかを調査し（実情を知る）、もし教育訓練が実施されていないのならば、その対応を検討する。
- 3) 各支部の支部大会を中心に高校生研究発表等、生徒・児童の学習支援、啓蒙活動を実施する。また、各支部で実施される企画を精査し、動物学会の教育活動として優れた活動・企画を各支部で積極的に採用してもらえるように働きかける。なお、現在予定されている各支部の活動は以下の通りである。

<北海道>

1. 札幌大会での発表、および参加の積極的な呼び掛け
2. 個々の教員の関連活動（SSH 採択高校での研究指導や研究発表会参加など）

<東北>

1. 第 5 回動物学フォトコンテスト（〆切 7 月 8 日）を実施し、入賞作品をフォトパネルとし山形大学小白川キャンパス支部大会会場に展示する。一般（専門分野外）で、小学生などからの投稿写真については、入賞にかかわらず賞状を授

与する。入賞作品は次年度の本コンテストのポスターに使用する。撮影者の許可を得て掲載などを行う。フォトコンテストのポスターを各支部会員の所属地区の関係教育機関（小・中・高校）へ掲示を依頼し、参加を呼び掛ける。

2. 中高校生による科学研究発表プログラム。SSH や高大連携等で関連のある高校生の指導教員に働きかけ、参加を促す。これまでの参加中学・高校を中心に支部大会の本プログラムについてアナウンスする。
3. 親子で楽しむ動物学 18
4. 平成 30 年 7 月 22 日（日）小中学生及び保護者を対象に、山形大学小白川キャンパスにて開催する（テーマ等は未定）。

< 関東 >

1. 2018（平成 30）年関東支部公開講演会

平成 30 年 7 月 22 日（日）13:00-16:30、東大理学部 2 号館 4 階講堂において、関東支部公開講演会を、「さまざまな環境に適応する動物たち -分子やゲノムから生態・進化を解き明かす-」をテーマとして開催し、次の 3 氏が以下のような演題で講演する（敬称略）。中学・高校生をふくむ一般の方を対象としている。

二橋 亮「トンボの体色形成メカニズムと環境適応」

石川 麻乃「海から川や湖へ！トゲウオから探る進化の秘密」

國枝 武和「最強動物！？クマムシのサバイバル戦略を読み解く」

< 中部 >

1. 支部会での高校生による発表

日 時：平成 30 年 12 月 8-9 日(土-日)

場 所：名古屋大学理学南館

内 容：高校生ポスター発表

2. 動物学会 動物学ひろば

タイトル：身近な実験動物～メダカってどんな生き物？（案）

日時：平成 30 年 9 月 15 日

場所：札幌コンベンションセンター

< 近畿 >

1. 講演会、高校生ポスター発表会

日時：2018 年 11 月 17 日(土)

場所：大阪大学豊中キャンパス

講演会および高校生ポスター発表会

< 中国四国 >

1. 平成 30 年 5 月 13 日 生物系三学会中国四国支部大会山口大会

公開講演会、高校生ポスター発表

2. 山口大学理学部サイエンスワールド 2018（予定）

平成 30 年 10 月 27 日（予定） 山口県山口市（山口大学吉田キャンパス）

< 九州 >

1. 高校生を対象とした公開実習

担当者：高宗和史会員（熊本大学）

開催日：未定

場所：熊本大学理学部

内容：遺伝子に関する講義、DNA の抽出、観察、解析に関する実験

2. 鹿児島例会における高校生の研究発表

開催日：未定

場所：未定

内容：主に鹿児島県内の科学部に所属する高校生による成果発表

- 4) 高校生を対象とした *Zoological Science* の論文の無償公開にむけて、具体的な活動を進める。

・国際交流委員会

- 1) 第5回動物学国際交流セミナー（日本動物学会第89回大会）の企画検討および実施
開催日：9月11日-12日を予定。

場所：北海道大学国際交流センター、札幌市アイヌ文化交流センターを予定。

内容：海外から著名な研究者を招聘し、若手会員を中心として1泊2日の合宿形式のセミナーを開催し、国際交流を深める。

- 2) 第6回動物学国際交流セミナー（日本動物学会第90回大会）の企画検討

・IT委員会

- 1) 年次大会の参加・演題登録システム及び演題検索システムの整備および運用をおこなう。
2) 動物学会 web サイトのリニューアルについて、広報委員会と連携しながらすすめる。

・ZDW委員会

- 1) 論文検索・閲覧ウェブサイト ZooDiversity Web (ZDW)について、不具合の点検と改善を進める。
2) *Zoological Science* (ZS) および *Zoological Letters* (ZL) に掲載される論文について、動物名および証拠標本の情報を ZDW データベースに登録し、検索対象論文を逐次更新する。
3) ZS に掲載される論文について Early View を ZDW に掲載する。ただし、動物命名規約上掲載に問題がある場合はその限りではない。
4) Virtual Issue の企画・編集を行い、ZDW 上で公開する。本年度に2件程度の掲載を目指す。また、Virtual Issue の原稿の xml 化を円滑に行えるよう、原稿の規格を整理する。
5) ZS を購読する図書館・研究機関を対象に ZDW の広報活動を行い、ZS 22 巻以降の閲覧に必要な IP アドレスの収集と登録を進める。
6) 動物学雑誌・彙報のアーカイブ化を推進するため予算獲得（新たな科研費申請など）について検討する。

・寄付委員会

- 1) 平成 29 年度に開始された寄付委員会立ち上げを続行し、各支部からの委員からなる委員会を組織する。
- 2) 委員会にて、寄付のあり方に関しての理念を議論するとともに、寄付の具体的な運用方法を議論する。
- 3) 寄付をお願いする文書の雛形を作成し、各支部の活動も含めた様々な場面で配布する体勢を構築する。
- 4) 学会 HP のリニューアルに連動して、寄付受付ページを整備する。

9 支部による活動

・北海道支部

- 1) 第 8 9 回日本動物学会大会（札幌コンベンションセンター）の開催（30 年 9 月 13 日～15 日）
- 2) 第 6 3 回北海道支部大会の開催（31 年夏、北海道西部地区実施を予定）
- 3) 支部講演会の開催（適宜）
- 4) 以上の活動を通じた北海道の動物学関連諸学会（水産学会・獣医学会・動物行動学会・動物心理学会・神経科学会等）会員との連携強化

・東北支部

- 1) 支部大会の開催
開催日：平成 30 年 7 月 21 日（土）～22 日（日）
場所：山形大学小白川キャンパス理学部
内容：1. 研究発表（一般）
2. 研究発表（高校生）（口頭発表、例年 10 題程度）
3. 動物に関するフォトコンテスト（web を通して公募、例年 20-30 作品）
- 2) 親子で楽しむ動物学 18
開催日：平成 30 年 8 月 5 日（日）
場所：山形大学小白川キャンパス理学部
内容：小学生と保護者を対象とした実験・観察講座
定員：20 組（予定）

・関東支部

- 1) 支部主催公開講演会の実施
「さまざまな環境に適応する動物たちー分子やゲノムから生態・進化を解き明かすー」
日時：平成 30 年 7 月 22 日（日）13：00-16：30
会場：東京大理学部 2 号館講堂
二橋 亮「トンボの体色形成メカニズムと環境適応」
石川麻乃「海から川や湖へ！トゲウオから探る進化の秘密」
國枝武和「最強動物！？クマムシのサバイバル戦略を読み解く」
- 2) 支部大会・支部総会の実施

日時：2018年3月（未定）

会場：中央大学

大会長：福井 彰雅 会員（中央大学）

3) 動物学の普及活動

・中部支部

中部支部大会

日時：平成30（2018）年12月8日（土）～9日（日）

会場：名古屋大学理学南館 坂田・平田ホールとセミナー室

大会員長：田中実（名古屋大学大学院理学研究科）

・近畿支部

1) 秋の近畿支部大会

開催日：平成30年9月

場所：大阪大学豊中キャンパス理学部

- 内容：
1. 支部委員会
 2. 研究発表（一般）
 3. 研究発表（高校生）（口頭発表、例年10題程度）

2) 春の近畿支部大会

開催日：平成31年4月

場所：未定

- 内容：
1. 支部委員会
 2. 公開講演会

3) 日本動物学会大会の準備

2019年9月12日（木）～14日（土）に大阪市立大学全学共通教育棟で開催される全国大会の準備を寺北明久会員（準備委員長）を中心として行う。

・中国四国支部

1) 山口大学理学部サイエンスワールド2018の後援

平成30年10月27日に山口大学吉田キャンパスにて開催予定。

2) 愛媛県例会

平成30年12月に愛媛大学理学部にて開催予定。

場所は未定。

3) 岡山県例会

平成30年12月に岡山大学にて開催予定。

4) 高知県例会

平成30年12月に高知大学にて開催予定。

5) 広島県例会

平成31年3月に広島大学にて開催予定。

6) 中国四国支部大会

平成31年5月に広島県にて開催予定。

・九州支部

1) 支部大会

日時：2019年6月1日（土）～2日（日）

場所：長崎大学

大会委員長：岡田二郎（動物学会）

2) その他の事業活動（出版事業、公開シンポジウム等）

(1) 2018年 7月 7日 鹿児島例会

(2) 2018年 動物学談話会

(3) 2018年11月11日 宮崎例会

(4) 2018年11月17日 佐賀例会

(5) 2018年11月17日 熊本例会

(6) 2018年12月 8日 鹿児島例会

(7) 2018年12月15日 福岡例会

(8) 2018年12月 8日 長崎例会

(9) 2018年12月15日 大分例会

(10) 日程未定 熊本・公開実習

公益社団法人日本動物学会 収支予算書(損益計算ベース)

平成30年7月1日～平成31年6月30日

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	[5,000]	[5,000]	[0]	
基本財産受取利息	5,000	5,000	0	
特定資産運用益	[20,000]	[20,000]	[0]	
特定資産受取利息	20,000	20,000	0	
受取入会金	[40,000]	[40,000]	[0]	
受取入会金	40,000	40,000	0	
受取会費	[18,747,600]	[17,474,400]	[1,273,200]	
通常会員受取会費	16,000,000	15,000,000	1,000,000	
団体会員受取会費	1,000,000	1,000,000	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
支部会員受取会費	(1,747,600)	(1,474,400)	(273,200)	
北海道支部	150,000	150,000	0	
東北支部	150,000	150,000	0	
関東支部	640,800	500,800	140,000	
中部支部	221,600	174,800	46,800	
近畿支部	231,200	165,600	65,600	
中国四国支部	204,000	183,200	20,800	
九州支部	150,000	150,000	0	
事業収益	[19,900,000]	[19,350,000]	[550,000]	
学術誌発行事業収益	(8,100,000)	(8,500,000)	(△ 400,000)	
学術誌予約購読料収益	6,800,000	7,200,000	△ 400,000	
学術誌掲載料収益	300,000	300,000	0	
別刷代等収益	1,000,000	1,000,000	0	
学術集会参加費等収益	11,800,000	10,850,000	950,000	
支部活動収益	0	0	0	
受取補助金等	[10,800,000]	[14,600,000]	[△ 3,800,000]	
国際情報発信強化(B)	0	1,400,000	△ 1,400,000	
新刊OA刊行支援	9,900,000	12,300,000	△ 2,400,000	
札幌大会公開促進費(B)	900,000	900,000	0	
受取寄付金	[0]	[0]	[0]	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	[300,000]	[800,000]	[△ 500,000]	
受取利息	0	0	0	
著作権収益	0	500,000	△ 500,000	
雑収益	300,000	300,000	0	
経常収益計	49,812,600	52,289,400	△ 2,476,800	
(2)経常費用				
事業費	[44,017,600]	[45,749,400]	[△ 1,731,800]	
学術集会の開催	(11,800,000)	(10,850,000)	(950,000)	
会場費	3,300,000	3,200,000	100,000	
会場設定費用等	1,400,000	1,300,000	100,000	
印刷費	1,500,000	1,200,000	300,000	
通信運搬費	200,000	100,000	100,000	
謝金	1,300,000	1,200,000	100,000	
消耗品費	100,000	50,000	50,000	
雑費	1,000,000	600,000	400,000	
懇親会費	3,000,000	3,200,000	△ 200,000	
英文学術誌の刊行	(7,570,000)	(7,170,000)	(400,000)	
Zoological Science 印刷出版費	3,000,000	3,000,000	0	
別刷印刷費	300,000	500,000	△ 200,000	
通信運搬費	70,000	70,000	0	
編集費	4,200,000	4,000,000	200,000	
新刊OA刊行費	(9,900,000)	(12,300,000)	(△ 2,400,000)	
大会公開促進費(B)	(900,000)	900,000	0	
支部活動費	(1,747,600)	(1,474,400)	(273,200)	
研究の奨励及び研究業績の表彰	(2,200,000)	(2,200,000)	(0)	
動物学会賞	200,000	200,000	0	
奨励賞	100,000	100,000	0	
論文賞	300,000	300,000	0	
日本動物学会OM賞	1,000,000	1,000,000	0	
川口基金奨励金	300,000	300,000	0	
高校生研究発表奨励	300,000	300,000	0	
関係学術団体との連絡・協力	(60,000)	(60,000)	(0)	
委員会活動費	(350,000)	(150,000)	(200,000)	

歴史資料保存委員会	50,000	50,000	0
男女共同参画委員会	100,000	100,000	0
ZDW委員会(ZDW維持費)	200,000	0	200,000
支払寄付金	(200,000)	(200,000)	0
国際生物学オリンピック・生物学賞	200,000	200,000	0
給与手当	(5,000,000)	(4,900,000)	100,000
法定福利費	(800,000)	(800,000)	0
退職給付費用	(600,000)	(455,000)	145,000
会議費	(10,000)	(10,000)	0
旅費交通費	(230,000)	(230,000)	0
電話料	(105,000)	(105,000)	0
消耗品費	(285,000)	(285,000)	0
データベース管理費	(400,000)	(400,000)	0
光熱水費	(60,000)	(60,000)	0
謝金	(650,000)	(650,000)	0
賃借料	(500,000)	(500,000)	0
雑費	(650,000)	(650,000)	0
管理費	[5,795,000]	[6,540,000]	[△ 745,000]
給与手当	1,700,000	2,100,000	△ 400,000
法定福利費	300,000	300,000	0
退職給付費用	200,000	195,000	5,000
会議費	40,000	40,000	0
旅費交通費	600,000	700,000	△ 100,000
電話料	105,000	105,000	0
通信運搬費	400,000	500,000	△ 100,000
消耗品費	150,000	150,000	0
データベース管理費	300,000	300,000	0
光熱水費	100,000	100,000	0
謝金	1,200,000	1,350,000	△ 150,000
賃借料	500,000	500,000	0
雑費	200,000	200,000	0
経常費用計	49,812,600	52,289,400	△ 2,476,800
当期経常増減額	0	0	0
1.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	8,032,655	5,427,884	2,604,771
一般正味財産期末残高	8,032,655	5,427,884	2,604,771
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[0]	[0]	[0]
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	[0]	[0]	[0]
受取OM寄附金	0	0	0
一般財産へ振替	[0]	[0]	[0]
OM	0	0	0
一般財産へ振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	28,391,647	29,987,159	△ 1,595,512
指定正味財産期末残高	28,391,647	29,987,159	△ 1,595,512
III 正味財産期末残高	36,424,302	35,415,043	1,009,259

平成30年度 収支予算(損益計算ベース) 内訳表

	公益事業	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	[5,000]	[0]		[5,000]
基本財産受取利息	5,000			5,000
特定資産運用益	[20,000]	[0]		[20,000]
特定資産受取利息	20,000			20,000
受取入会金	[20,000]	[20,000]		[40,000]
受取入会金	20,000	20,000		40,000
受取会費	[9,373,800]	[9,373,800]		[18,747,600]
通常会員受取会費	8,000,000	8,000,000		16,000,000
団体会員受取会費	500,000	500,000		1,000,000
支部会員受取会費	(873,800)	(873,800)		(1,747,600)
北海道支部	75,000	75,000		150,000
東北支部	75,000	75,000		150,000
関東支部	320,400	320,400		640,800
中部支部	110,800	110,800		221,600
近畿支部	115,600	115,600		231,200
中国四国支部	102,000	102,000		204,000
九州支部	75,000	75,000		150,000
事業収益	[19,900,000]	[0]		[19,900,000]
学術誌発行事業収益	(8,100,000)	(0)		(8,100,000)
学術誌予約購読料収益	6,800,000			6,800,000
学術誌掲載料収益	300,000			300,000
別刷代収益	1,000,000			1,000,000
学術集会参加費等収益	11,800,000			11,800,000
受取補助金等	[10,800,000]	[0]		[10,800,000]
新刊OA刊行支援	9,900,000			9,900,000
富山大会公開促進費(B)	900,000			900,000
雑収益	[300,000]	[0]		[300,000]
雑収益	300,000			300,000
経常収益計	40,418,800	9,393,800		49,812,600
(2)経常費用				
事業費	[44,017,600]	[0]		[44,017,600]
学術集会の開催	(11,800,000)	(0)		(11,800,000)
会場費	3,300,000			3,300,000
会場設定費用等	1,400,000			1,400,000
印刷費	1,500,000			1,500,000
通信運搬費	200,000			200,000
謝金	1,300,000			1,300,000
消耗品	100,000			100,000
雑費	1,000,000			1,000,000
懇親会費	3,000,000			3,000,000
英文学術誌の刊行	(7,570,000)	(0)		(7,570,000)
Zoological Science 印刷出版費	3,000,000			3,000,000
別刷印刷費	300,000			300,000
通信運搬費	70,000			70,000
編集費	4,200,000			4,200,000
国際情報発信強化(B)活動費	(0)	(0)		0
新刊OA刊行費	(9,900,000)	(0)		9,900,000
大会公開促進費(B)	(900,000)	(0)		(900,000)
支部活動費	(1,747,600)	(0)		(1,747,600)
研究の奨励及び研究業績の表彰	(2,200,000)	(0)		(2,200,000)
動物学会賞	200,000			200,000
奨励賞	100,000			100,000
論文賞	300,000			300,000
日本動物学会OM賞	1,000,000			1,000,000
川口基金奨励金	300,000			300,000
高校生研究発表奨励	300,000			300,000
関係学術団体との連絡・協力	(60,000)	(0)		(60,000)
委員会活動費	(350,000)	(0)		(350,000)
歴史資料保存委員会	50,000			50,000
男女共同参画委員会	100,000			100,000
ZDW委員会(ZDWサポート費用)	200,000			200,000
支払寄付金	(200,000)	(0)		(200,000)
国際生物学オリンピック・生物学賞	200,000			200,000

給与手当	(5,000,000)	(0)	5,000,000
法定福利費	(800,000)	(0)	800,000
退職給付費用	(600,000)	(0)	600,000
会議費	(10,000)	(0)	10,000
旅費交通費	(230,000)	(0)	230,000
通信運搬費(電話料)	(105,000)	(0)	105,000
消耗品費	(285,000)	(0)	285,000
データベース管理費	(400,000)	(0)	400,000
光熱水費	(60,000)	(0)	60,000
謝金	(650,000)	(0)	650,000
賃借料	(500,000)	(0)	500,000
雑費	(650,000)	(0)	650,000
管理費		[5,795,000]	[5,795,000]
給与手当		1,700,000	1,700,000
法定福利費		300,000	300,000
退職給付費用		200,000	200,000
会議費		40,000	40,000
旅費交通費		600,000	600,000
電話料		105,000	105,000
通信運搬費		400,000	400,000
消耗品費		150,000	150,000
データベース管理費		300,000	300,000
光熱水費		100,000	100,000
謝金		1,200,000	1,200,000
賃借料		500,000	500,000
雑費		200,000	200,000
経常費用計	44,017,600	5,795,000	49,812,600
当期経常増減額	△ 3,598,800	3,598,800	0
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△ 1,354,695	9,387,350	8,032,655
一般正味財産期末残高	△ 4,953,495	12,986,150	8,032,655
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	[0]	[0]	[0]
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	[0]	[0]	[0]
受取OM寄附金	0	0	0
一般財産へ振替	[0]	[0]	[0]
OM	0	0	0
一般財産へ振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	28,391,647	0	28,391,647
指定正味財産期末残高	28,391,647	0	28,391,647
III 正味財産期末残高	23,438,152	12,986,150	36,424,302